

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年6月20日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 27
校長 田中 成年

<自分事として考える>

～大人も子供もルールとマナーを守る～

今回は少し耳の痛い話をさせてください。畝刈小学校には、様々な地区から子供たちが登校してきています。朝の様子を見ておりますと、車で登校してくる子供たちが多く見受けられます。それも、**学校の校門付近での乗降は遠慮していただく**ようお願いをしていることですが、一向に減る気配がありません。しかも**横断歩道付近で停車**される方も多く見受けられ**とても危険**です。警察は事が起こってからではないと動きませんが、**子供たちの命が奪われてからでは、遅い**です。やめていただきたいと思います。

先日、周辺地区の自治会長様方が来校され、**穏やかに「周辺での送迎を控えるようお願いしたい」**と言われ帰られました。内容としては、

- 家の前で乗降されると、車を出すときに**出しにくい**。
- 慎重に停車中の車を避けて**家の車庫に止めようとしたら、自宅の駐車場の**壁に車をぶつけてしまった**。

「**自分事**」として考えてみてください。各ご家庭の**家の前に毎日車が止まり人を降ろす行為が毎日続いたら皆さんはどのような気持ち**になるでしょうか。**校門付近の住人の方々は言葉には出さないけれども毎日嫌な気持ち**をされておられるのです。

ましてや**停車している車に気を使ったことで、車をぶつけてしまうことなど、こんなひどいことはあってはならない**と思います。みなさんはいかがでしょう。

この件に関しては、育友会とも相談をさせていただきながら、進めさせていただきたいと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

子供たちには、ルールやマナーを守るように事あるごとに話をしています。人に迷惑をかけるような行為は、子供たちを大切に育てておられる保護者の皆様も決して行わない、「**大人は子供の手本**」となるようお願いいたします。

<お知らせ>

送迎のための入校許可をしている車はあります。次の通りです。

- けがをしており、歩いて登下校ができない場合（臨時入校許可証を発行）
 - 通院で遅れる場合
 - 病気で早退する場合
 - 特別な配慮が必要とされる場合（臨時入校許可証を発行）
- 子供たちの命を守るために、「無断入校」はご遠慮ください。

地域の方々の協力なくしては、子供たちのよりよい教育環境を作ることはできません。すべてのことを自分事として考え、大人も子供もルールやマナーを守り、家庭・地域・学校がそれぞれの立場でともに手を携えよりよい環境で子供たちを育ててまいりましょう。